平成21 年6 月17 日

第117 回エイズ動向委員会
委 員 長 コ メ ン ト

【平成２１年第１四半期】

【概要】〔資料１、資料４参照〕

1．今回の報告期間は平成20 年12 月29 日～平成21 年3 月29 日までの約3 か月

2．新規ＨＩＶ感染者報告数は249 件（前回報告292 件、 前年同時期251 件）で、過去8 位
そのうち男性235 件、女性14 件で、男性は前回（275 件）及び前年同時期（236 件）より減少
女性も前回（17 件）及び前年同時期（15 件）より減少

3．新規ＡＩＤＳ患者報告数は124 件（前回報告110 件、前年同時期94 件）で、過去2 位
そのうち男性116 件、女性8 件で、男性は前回（104 件）及び前年同時期（82 件）より増加
女性は前回（6 件）より増加しているが、前年同時期（12 件）より減少

4．ＨＩＶ感染者とＡＩＤＳ患者を合わせた新規報告数は373 件で過去6 位

【感染経路・年齢等の動向】〔資料１、資料２、資料４参照〕

1．新規ＨＩＶ感染者：
○ 同性間性的接触によるものが176 件（全ＨＩＶ感染者報告数の約71 %）
そのうち167 件が日本国籍男性
○ 異性間性的接触によるものが46 件（全ＨＩＶ感染者報告数の約18 %）
そのうち男性34 件、女性12 件
○ 年齢別では、特に20～30 代が多く、40 代以上では前回及び前年同時期より減少

2．新規ＡＩＤＳ患者：
○ 同性間性的接触によるものが61 件と過去最高（全ＡＩＤＳ患者報告数の約49 %）
○ 異性間性的接触によるものが39 件（全ＡＩＤＳ患者報告数の約31 %）
そのうち男性33 件、女性6 件
○ 年齢別では、特に30 代に多く、30～40 代が前回及び前年同時期より増加

【検査・相談件数の概況（平成21 年1月～3 月）】〔資料５～資料７参照〕

1．保健所におけるＨＩＶ抗体検査件数は37,788 件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は
8,122 件、保健所等における相談件数は58,359 件
前年同時期に比べ、抗体検査件数・相談件数ともに増加

【献血の概況（平成21 年1 月～3 月）】〔資料８参照〕

1．献血件数（速報値）は1,299,689 件（前年1,239,315 件）

2．そのうちＨＩＶ抗体・核酸増幅検査陽性件数は28 件（前年28 件）
10 万件当たりの陽性件数は2.154 件（前年2.259 件）

【まとめ】

1．感染経路別に見ると、同性間性的接触によるＨＩＶ感染は増加傾向である。

2．地方自治体等の関係者の努力によりＨＩＶ抗体検査件数は増加傾向である。

3．各自治体においては、エイズ予防指針を踏まえ、個別施策層（特に男性同性愛者）に加え、中高年層等の特性に応じ、利用者の利便性に配慮した検査・相談事業を推進し、予防に関する普及啓発に努めることが重要であり、ＨＩＶ感染の早期発見による適切な治療の促進と感染拡大の抑制に努める必要がある。

４．国民はＨＩＶ・ＡＩＤＳについての理解を深め、身近な問題として積極的に予防に努めるべきである。早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、ＨＩＶ抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。